

PRESS RELEASE (2025/05/19)

九州大学農学部附属彦山生物学実験施設が記録映画に 英彦山の自然と歴史を記録した貴重な映像

ポイント

- ①彦山生物学実験施設は、福岡県田川郡添田町にある英彦山（標高 1199 m）の中腹（標高 670 m）にある九州大学農学部の附属施設。これまで英彦山に生息する昆虫を中心とした生物の研究に寄与し、九大スタッフや学生、外部からの訪問研究者などによって利用され多くの研究成果があげられてきた。
- ②当施設は、英彦山神宮宮司の高千穂宣麿男爵が明治 33 年に設立した昆虫学実験所がもとになっており、昭和 11 年（1936 年）に九州帝国大学に移管され彦山生物学実験研究所として開設。その後数回名称が変わり、現在の施設名となった。
- ③施設は座主院跡に設立されているため、雪舟式の庭園などとともに史跡としても重要。
- ④今回、福岡市在住の映画監督児玉公広氏が約 4 年にわたって撮りためた施設での研究の様子や、歴史・文学などに関連する映像がまとめられ、記録映画として公開されることとなった。

概要

彦山生物学実験施設は、昆虫を中心とした九州に生息する生物の特性を明らかにするために開設され、現在に至っています。開設後、約 90 年の間に 30 万点以上の昆虫標本が蓄積され、研究成果として様々な出版物が刊行されました。英彦山には多様な自然林が残されている上、実験施設で宿泊しながら長期間の調査が可能であることから、これまでにヒコサンオオズナガゴミムシなど 50 種を超える新種が発見されています。

今回の記録映画では、英彦山に生息するオオカマキリモドキやアオタマムシなどの珍しい昆虫類や、九大のスタッフと学生や地元の昆虫愛好家による昆虫採集の様子や、最初に昆虫学実験所を設立した高千穂宣麿男爵、英彦山に通って多くの俳句を詠んだ俳人杉田久女の逸話、座主院跡としての実験施設一帯の歴史的な価値などが紹介されています。

なお、記録映画「九州大学彦山生物学実験施設」の試写会が以下のように予定されています。

日時：2025 年 6 月 21 日（土）10:00～12:00, 14:00～16:00（2 回上映）

場所：福岡アジア美術館あじびホール【福岡市博多区下川端町 3-1】

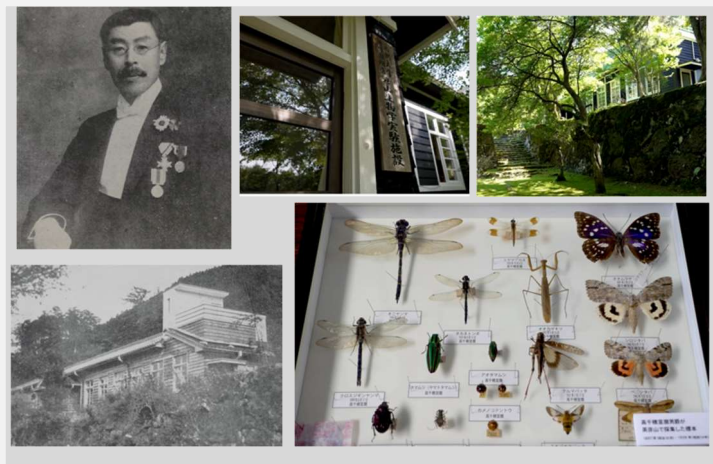
日時：2025 年 6 月 29 日（日）11:00～13:00, 15:00～17:00（2 回上映）

場所：シネマハウス大塚【東京都豊島区巣鴨 4-7-4-101】

研究者からひとこと：

古くから多様な昆虫が生息することが知られる英彦山に開設された九州大学彦山生物学実験施設は、約 90 年に渡って生物多様性を研究するモニタリングサイトとして利用されてきました。同施設は昆虫学を志す者にとって、昆虫の多様性だけでなく、日本の昆虫学の原点や歴史を体感できる貴重な場となっています。この記録映画をきっかけに、この施設が英彦山の自然と歴史の象徴となることを祈念しています。

廣渡俊哉



左上：高千穂宣麿男爵 右上：現在の実験施設
左下：昭和 11 年開設当初の彦山生物学実験施設
右下：高千穂男爵が英彦山で採集した昆虫標本

Kyushu
University

VISION 2030
総合知で社会変革を牽引する大学へ

【お問い合わせ】 大学院農学研究院 学術特任教員 廣渡 俊哉

TEL:090-3721-5364

Mail: hirowat_t@agr.kyushu-u.ac.jp

映画監督 児玉 公広

TEL:090-1515-3227

Mail: shiho@orange.ocn.ne.jp

*試写会会場が狭いため、定員になり次第締め切らせていただきます。観覧をご希望の方は児玉までご連絡下さい。